

○水生生物モニタリング調査結果一覧（宇多川C）

<宇多川C 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
調査地点	○	○	○	○	○	○
C-6	○	○	○	○	○	○

<宇多川C 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)
調査地点	37.7764°	140.8877°	R4.8.18	09:56	10:02	21.6	21.8	砂	10YR4/2	無	0.37	>50
C-6	37.7764°	140.8877°	R4.8.18	09:56	10:02	21.6	21.8	砂	10YR4/2	無	0.37	>50

<宇多川C 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
調査地点	37.7764°	140.8877°	R4.8.18	09:56	7.4	<0.5	2.9	8.9	10.4	0.06	1.2	5	4.4	N.D. (0.0023)	0.0046	0.00073
C-6	37.7764°	140.8877°	R4.8.18	09:56	7.4	<0.5	2.9	8.9	10.4	0.06	1.2	5	4.4	N.D. (0.0023)	0.0046	0.00073

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<宇多川C 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
調査地点	37.7764°	140.8877°	R4.8.18	10:02	7.9	466	17.7	0.8	1.2	2.670	41.8	31.4	16.2	2.6	3.9	4.1	1.6	19	1.2	43	0.26
C-6	37.7764°	140.8877°	R4.8.18	10:02	7.9	466	17.7	0.8	1.2	2.670	41.8	31.4	16.2	2.6	3.9	4.1	1.6	19	1.2	43	0.26

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<宇多川C 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
C-6	宇多川本流	37.7764°	140.8877°	R4.8.18	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.0093	—	—	—	35	N.D. (7.5)	35	—
					藻類・植物	接合藻	ホシトモ	ホシトモ	<i>Spirogyra</i> sp.	アオミドロ属	—	0.32	—	—	0.76	N.D. (0.23)	0.76	—	
					節足動物	軟甲	エビ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ	8	0.092	成体	—	—	3.0	N.D. (0.59)	3.0	—
					節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	275	0.10	未成体/成体	—	—	2.5	N.D. (0.43)	2.5	—
					節足動物	軟甲	エビ	モズガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	モズガニ	3	0.083	未成体	—	—	4.5	N.D. (0.59)	4.5	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Candidia temminckii</i>	カワムツ	6	0.051	未成魚	—	—	2.8	N.D. (0.94)	2.8	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	1	0.024	未成魚	—	—	8.8	N.D. (1.7)	8.8	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	ドジョウ	2	0.037	未成魚/成魚	—	—	3.5	N.D. (1.3)	3.5	—
					脊椎動物	硬骨魚	アユ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	201	1.8	未成魚	—	—	7.5	N.D. (0.64)	7.5	0.13
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ	3	0.037	未成魚	—	—	5.5	N.D. (1.3)	5.5	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	62	0.10	未成魚/成魚	—	—	2.9	N.D. (0.51)	2.9	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ									
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius</i> sp.	ヨシノボリ属									
					粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	0.24	—	—	—	9.1	N.D. (1.5)	9.1	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。